

# 十日町新聞

発行所 十日町新聞社  
 新潟県十日町市北新田第3  
 TEL 025-752-3118  
 FAX 025-757-2246  
 郵便番号 948-0041  
 毎週木曜日発行  
 E-mail info@tokamachi-shinbun.com

市内高田町3西のNPO法人支援センターあんしんの樋口功会長(63)がこのほど「豪雪のまちで福祉を叫ぶ」(みらい印刷刊)を出版した。

同書は昨年に、NPO開設10周年を迎えたのを機にまとめられたもの。末娘の明紀子さんが3歳の時の事故が元で重い知的障がいがあり、それをきっかけに樋口会長が福祉の道に進んだ歩みが綴られている。

## 「豪雪のまちで福祉を叫ぶ」

NPO10年の歩みを綴る

### 樋口功あんしん会長が本を出版

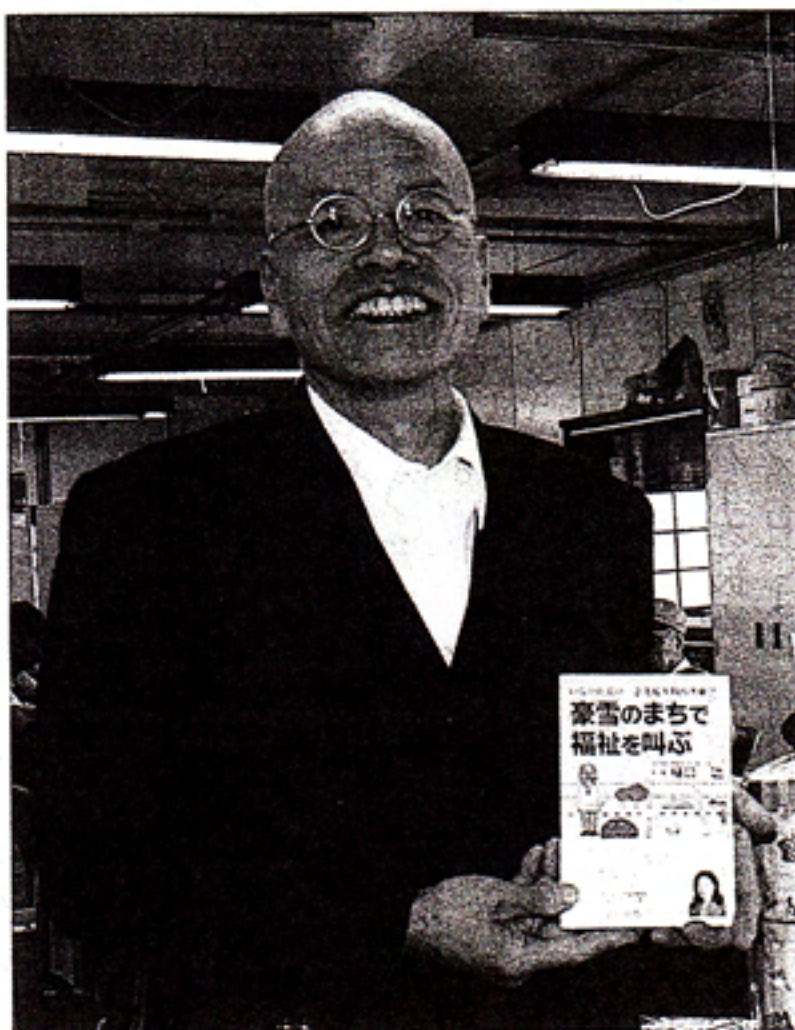
民間で障がい福祉事業を立ち上げ、障がい者が街中で暮らすことの大切さ、民間感覚の必要性、事業がやっと軌道に乗り始めた時に発生した中越地震、その後の苦闘と多くの支援のお陰で再起した様子が、樋口会長の率直な筆致で描かれている。

特に障がい者の雇用確保につながり、紙のゴミを減らすことにも役立つトレットペーパー事業は、カラフルなデザインを用いたオリジナルの包み紙、贈答用など様々な

アイディアで飛躍的に事業が拡大されていく道のりが生き生きと綴られている。

また樋口会長の「誰も知らない1社になりたくない。誰でも知ってほしい。誰でも知ってほしい」との思いから、自ら経営していた管工事業からの撤退、融雪事業に特化する経緯や、当時の苦労話も盛り込まれ、経営書としても興味深い内容となっている。

「特別支援学校など学童児の施設、いわゆる川上の制度整備は進んできたと思うが、



自著を手にするNPO あんしんの樋口会長

卒業後の方が、はるかに人生が長い。今後は川下の整備を進めることが大事」と語る樋口さん。障がいの重い人は地域を離れるしかなかったという事実も執筆の動機だ。

また色彩戦略やデザインの第一線で活躍し、あんしんのトレットペーパーのデザインを指導している中神公子さんが推薦文を寄せている。出版にあたり、樋口さんは「福祉のことは一般の方々に

は理解しづらい面もあるかもしれないが、まだまだやらなければならぬことがある雪国の福祉の現場を少しでも分かっていただければ」と話している。

四六判、176ページ。1200円(税別)。各書店で扱っており、売上金の一部はあんしんの活動資金に充てられる。問い合わせはあんしん(電話757-5511)へ。